

ちひろカレンダー普及推進ニュース

発行:原水爆禁止日本協議会

電話:03-5842-6031

2015年
12月3日

Eメール:antiatom55@hotmail.com

カレンダー普及目標達成し、2016年のたたかいへ

“あなたの気持をお寄せください” と道団体へ訪問

北海道・嶋田事務局長

11月末には、62年ぶりの大雪となった北海道。この間、嶋田事務局長は、北海道自治労連、北海道高教組、合同法律事務所、日本共産党札幌市議団、同・北海道議団、北海道平和婦人会、国民救援会北海道本部を直接訪問し、カレンダー普及と被災地募金をお願いしました。

自治労連では、岩手の自治労連の被災地カレンダー贈呈の記事が大きく紹介された原水協通信11月号8面を見てもらい協力をお願いしたところ、さっそく団体募金2万円が振り込まれました。合同法律事務所には、「いつものお願いです」と、ちひろカレンダーと原水協通信を受け付けの方に届けました。ここは例年4~5万円の募金が届きます。6月にグントシャツを全員が交流している札幌市議団には「一人ひとりのお気持ちを寄せてください」とお願いして、1万円の募金が寄せられました。国民救援会は、お願い文書と募金袋を24支部すべての送ってくれることになりました。

また、北海道福祉保育労の書記長は、「自分たちの仲間が被災地で頑張っている。気持ちがあってもなかなか支援できないが、心を寄せることができる取り組みですね」と、保育園などに募金袋とお願い文書をおろしてくれています。

事務局長の嶋田さんは、「年末を控え、いろいろな募金が必要されている中で、ぜひ気持ちを寄せてほしい。一口1000円と言いながら、ワンコインでも大歓迎ですとお願いしています。」と奮闘中です。これまでに約10万円の募金が集まりました。



山口逸郎さんから被災地募金が届きました!

国民平和進行のDVD「一歩でも二歩でも」プロデューサーの山口逸郎さんから、被災地募金8500円が届きました。日本原水協の安井事務局長から「山口さんのつながりでワンコイン(500円)募金をひろげてください」と募金袋を渡してお願いしたところ、日本共産党の文化後援会の集まりで集めてくれました。さらに、今後いろいろな集まりがあるからと募金袋3枚追加しました。気軽に被災地募金への協力をお願いします。